

地域医療の中で行う支援

①日々の診療において
認知機能の低下に気づく

②診断にあたり、必要に応じて
専門医療機関と連携

③原因疾患に対する治療とケア

④身体合併症等の発症や悪化への
対応

⑤行動・心理症状 (BPSD) への対応、
せん妄への対応

⑥歯科医療と連携した支援
(歯科口腔疾患への対応、口腔ケア、摂食嚥
下支援等)

⑦薬局と連携した支援
(服薬管理指導 等)

⑧介護保険サービス等の利用へ向け
た支援

⑨状況に応じて、成年後見制度、権
利擁護制度の利用支援

⑩家族等への支援

⑪意思決定支援及び本人の価値観、希望に沿った医療・ケアの提供

⑫本人の生活環境・経済状況等を踏まえた支援

認知症サポート医に期待されていること

※認知症サポート医等に関する区市町村へのアンケート調査 (R3.5実施) より抜粋

認知症サポート医に期待する役割

(Q9 「認知症サポート医に取り組んでほしいこと」より、上位3位)

- ①住民向け講演会や研修の開催に当たり、企画立案や講師として協力
- ②地域の中でBPSDへの対応が困難なときや対応困難な事例があった際、区市町村や地域包括支援センター、医療・介護関係者からの相談に応じる
- ③専門職向けの研修実施や講演会の開催に当たり、企画立案や講師として協力

困りごとを解決するために認知症サポート医にどのように対応してほしいか

(Q6 「サポート医に連絡しても解決ができないことがある」と回答した区市町村より、複数回答があったもの)

- 継続して相談に応じてほしい
- 受診困難な場合等に同行訪問してほしい
- 医師の視点からのアセスメントや今後の対応方法等の助言
- 必要に応じて専門医療機関につないでほしい

住み慣れた地域で適時・適切な医療・介護・生活支援等を受けられるよう、都の認知症サポート医は以下の役割を担う

【すべての認知症サポート医に共通する役割】

- ◎ 主治医として関わる患者について、本人や家族等を支えるチームの一員として継続して関わり、適時相談に応じて適切な助言と支援を行う
- ◎ 対応が難しい場合には適切な医療機関や専門医、必要な連携先を紹介し繋げる
- ◎ 認知症サポート医等フォローアップ研修の受講等を通じて、認知症医療に関する自身のスキルアップを図る

【地域のニーズに合わせて担う役割】

- 主治医として関わる患者以外の方についても、本人や家族・介護者を支えるチームの一員として共に継続して関わり、適切な助言と支援を行う
(初期集中支援チームへ参画等)
- 区市町村が行う検診事業や地域で行われる認知症カフェ等の地域活動への協力、住民向け講演会や専門職向け研修等の企画立案や講師としての協力